

Blitz

Art Photo Site Tokyo

6-20-29 Shimomeguro, Meguro-Ku, Tokyo 153-0064 Japan
TEL : 03-3714-0552 FAX: 03-3714-2571 E-mail: info@artphoto-site.com

報道各位

平成29年7月吉日

トミオ・セイケ 写真展 「Julie - Street Performer」

(ジュリー - ストリート・パフォーマー)

2017年 10月3日 (火) ~ 12月2日 (土)

1:00PM~6:00PM / 休廊日・月曜日 / 入場無料

ブリッツ・ギャラリー

〒153-0064 東京都目黒区下目黒6-20-29 TEL 03-3714-0552

JR目黒駅からバス、目黒消防署下車徒歩3分 / 東急東横線学芸大学下車徒歩15分

このたびブリッツ・ギャラリーは、海外を中心に活動する写真家トミオ・セイケの「Julie - Street Performer (ジュリー - ストリート・パフォーマー)」展を開催します。本作は、若きストリート・パフォーマーであるジュリーの生き方をテーマにした初期作で、今回が世界で初公開となります。なお、昨年当ギャラリーで開催して好評だったリヴァプールの若者グループを撮影した「Liverpool 1981 (リヴァプール 1981)」とともに、本作はセイケが80年前半に英国で出会った若者たちをドキュメントしたシリーズとなります。

ストリート・パフォーマーは大道芸人と日本語に訳されます。外国ではライブ演奏も含まれます。ロンドンでは、行政からライセンスを得たパフォーマーが指定された路上で、歌、踊り、演技、演奏、アートなどのパフォーマンスを行い、観光客を楽しませてくれます。

1982年10月、セイケはロンドンで、カナダから来た若き4名のストリート・パフォーマーに出会います。彼らは男女二人ずつのグループで、ギターなどでの演奏をバックに男女のペアがダンス・パフォーマンスを行っていました。セイケは、彼らに興味を持ち、約1週間にわたりグループと行動を共にします。コヴェント・ガーデン、カムデン・マーケット、ポート・ベロー・マーケットで、主に女性ダンサー・ジュリーのパフォーマンスや私生活をドキュメントしました。セイケのカメラがとらえたのは、将来の大きな希望と現実の不安の中で揺れ動く若者たちの表情や態度です。前作のリヴァプールの若者たちと同様に、青春の光と影が見事に表現されています。

Blitz

Art Photo Site Tokyo

6-20-29 Shimomeguro, Meguro-Ku, Tokyo 153-0064 Japan

TEL : 03-3714-0552 FAX: 03-3714-2571 E-mail: info@artphoto-site.com

(...2/3)

本作の、旅の中で暮らすストリート・パフォーマーたちの生活環境は、前作の住居があるリヴァプールの若者よりも厳しいと思われます。しかし、彼らの表情からは、自分で将来の目標を考えて、決断を下したことによる覚悟が伝わってきます。ともに厳しい環境下で暮らす若者たち。リヴァプールの若者は明るいのですが、ストリート・パフォーマーの表情からは更に凜としたような強い意志が感じられます。

過去2年にわたり、セイケは80年代前半に若者をドキュメントした作品を発表してきました。それには、80年代の2作品が同じく困難な環境に生きる21世紀の日本の若者への生きるヒントになると考えたからではないでしょうか。80年代の高度成長期とは違い、現在の日本の若者は当時の英国の若者と同じような状況に置かれています。もはや、会社組織というコミュニティーに全人生を頼ることができません。彼らも自分で考えて、判断を下し、その責任をすべて背負う覚悟を持たなければなりません。それができれば、本作の80年代のストリート・パフォーマーのように、不安な気持ちを抱えながらも凜として生きることが可能だという意味ではないでしょうか。

1982年はちょうどセイケの代表作「ザ・ポートレート・オブ・ゾイ」に取り組む直前の時期で、自らのオリジナリティーや作品スタイル構築を模索していました。今回の展示作の中には、その後のモノクロームの抽象美を追求する作品スタイルへの展開を予感させる作品も数多くみられます。本展では、セイケの世界初公開の初期作約20点（デジタル・アーカイバル・プリント*）が展示されます。

ぜひご高覧いただくとともに、貴媒体においてのご紹介をよろしくお願い申し上げます。

*展示作は、当初5点アナログ銀塩、15点デジタル・アーカイバル・プリントを予定し、そのようにリリースに記載しておりましたが、諸事情により全点デジタル・アーカイバル・プリントを展示する予定となりました。8月30日に上記の通り訂正いたしました。

Blitz

Art Photo Site Tokyo

6-20-29 Shimomeguro, Meguro-Ku, Tokyo 153-0064 Japan
TEL : 03-3714-0552 FAX: 03-3714-2571 E-mail: info@artphoto-site.com

(...3/3)

トミオ・セイケ (Tomio Seike)

トミオ・セイケは1943年東京生まれ。欧米の主要アート・ギャラリーのハミルトンズ（ロンドン）などと契約し写真展を定期的に世界中で開催している数少ない日本人作家です。

会社員を3年経験後、1970年に日本写真学園を卒業しています。アシスタントを経験後、1975年からフリーランス写真家、その後イギリスに渡り1987年以降は東京とブライトンに居を構えています。現在は写真展、写真集を通しての作家活動を中心に行っています。

1982～1987年に取り組んだ「The Portraits of Zoe」シリーズで作家として注目されます。ロンドンのフォトグラファーズ・ギャラリーで初公開されて以降、ハミルトンズ（ロンドン）、ウェストン・ギャラリー（カメル）、ツァイト・フォトサロン（日本橋）、コウジ・オグラ・ギャラリー（名古屋）、ギャラリーf5.6（ミュンヘン）など世界中で個展が開催されています。

その後、「Paris」1992年、「Waterscapes」2003年、「Glynde Forge」2006年、を相次いで発表し作家の地位を確立させます。欧米写真の伝統を踏まえた上に日本文化のエッセンスも感じさせる優れた作家性、卓越した撮影テクニック、自らがプリントする高い完成度の銀塩写真で世界中のコレクターを魅了し続けています。またほとんどの作品がライカで撮影されていることからカメラファンからも熱烈な支持を得ています。2011年秋にはデジタル作品による「Overlook」をハミルトンズ（ロンドン）で開催し、アート写真の新しい可能性にも挑戦しています。

作品は、ヒューストン美術館、サンタバーバラ美術館、ヨーロッパ写真美術館、フランス国立図書館、ラザール・ナショナルバンク、エルトン・ジョン・コレクション、エルメス財団パーマネントコレクション等に収蔵されています。

以上

-
- ・お問い合わせ先 ブリッツ・ギャラリー <http://www.blitz-gallery.com> TEL 03-3714-0552
 - ・本展の情報・画像は http://www.artphoto-site.com/inf_press.html でご覧いただけます。
-